



四万十市ふるさと応援団 ニュース《第6号》 - 2011.1.27 -

1月に行く、2月は逃げる、3月は去る…とはよく言ったもので、もう1月も終わろうとしています。

これから年度末に向け、バタバタの毎日が続きそうです。

さて、四万十市ふるさと応援団ニュースの第6号として、本市の旬の情報をお届けします。



★ 新庁舎落成式&祝賀イベント開催



1月15日(土)、市役所新庁舎の落成式と祝賀イベントが市役所で行われました。

庁舎自体は昨年完成し5月から業務を開始していましたが、100台収容できる屋外駐車場などの完成を待っての開催。

この日は、市内13神社のみこし15基が集合したほか、一條太鼓、西土佐みのり太鼓、書道パフォーマンス、中学生の吹奏楽演奏などが行われ、多くの市民が落成を祝いました。

詳しくは下記URLをご覧ください。

※本文削除

★ 幸徳秋水刑死百周年記念事業がスタート



■ 墓前祭

今年は、本市が生んだ社会主義思想家、幸徳秋水が刑死してから100年になります。市では1年間を通じ官民あげて「幸徳秋水刑死百周年記念事業」を行います。

その第1弾として命日の1月24日、中村山手通の正福寺の墓地で墓前祭が行われ、田中市長は次の追悼のことばを捧げました。

[追悼文]

<http://www.city.shimanto.lg.jp/gyosei/mayor/message/20110124.pdf>

この日は、県内外から例年の3倍近い約250人が参列。献花のあと、フォークシンガーの笠木透さんらのグループが「ポスター」という曲を披露し、「弾圧は国の間違いだったと世界中にポスターを貼ろう」と訴えました。

■ 交流会

※本文削除

■ 前夜祭

※本文削除

■ 記念事業年間スケジュール

※本文削除

■ ご意見、ご提言の募集

=====

※本文削除